

「識字率向上・ 世界ローターアクト週間」によせて

国際ロータリー第2660地区 ガバナー
高島 凱夫



識字率向上は1986年以来、国際ロータリーの強調事項です。地域社会で、読み書きを向上させるプロジェクトを支援します。地域の識字水準が、その地域の生活水準に直結する、という観点から、この月間中に読み書き、計算のできない人たちを援助するために、ロータリー地域社会共同体、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、世界社会奉仕、ロータリーボランティア、その他の既存プログラムを通して、識字率向上に取り組んでいます。また、国際ロータリーは、世界的な識字推進団体・国際読書協会と協力し合い、世界的な識字推進を目指す社会奉仕プロジェクトを推進しています。ユネスコ(国連教育科学文化機関)によると、世界で9億人以上の人々は読み書きができません。その3分の2は女性です。成人、そして子どもに向けて、読書のプログラムを企画することや学校に本を寄贈すること、そして地元の図書館を援助することが要請されています。

識字率の範疇には入らないとは思いますが、我が国においても「漢字を正確に書く力が衰えた」という人は、10年前に比べ25.2ポイント増の66.5%、「手書きが面倒」と感じる人が、10.1ポイント増の42%、「口頭で済むことで

も、メールを使う」とする人は、12.3ポイント増の29.5%、という数字が出ているようです。慣用句の本来の意味を違った意味で使っている人、即ち本来の言い方で使う人が3割を切った言葉もあるというデータがあります。携帯電話などの情報機器は、能力形成過程の子供達も使用するという事で「言葉は変化するもの」とは言いますが、今後の大きな社会問題であると感じました。

また今月は、3月13日を含む週が「世界ローターアクト週間」とされています。毎年、世界中のローターアクターとロータリアンは、1968年の最初のローターアクトクラブ創立を記念し、この週に世界ローターアクト週間を祝っています。世界ローターアクト週間は、ローターアクト・プログラムの成果を確認し、更に未提唱クラブもその重要性を再認識する機会と思います。また、ローターアクトクラブの素晴らしい奉仕活動を地域の人々に伝えることで、活動への参加、ローターアクトクラブへの入会を促す機会となります。「ロータリーの価値観」を持ったローターアクターが幾年か後にロータリアンに成長していただくことは、ロータリーの未来への大きな力となるでしょう。